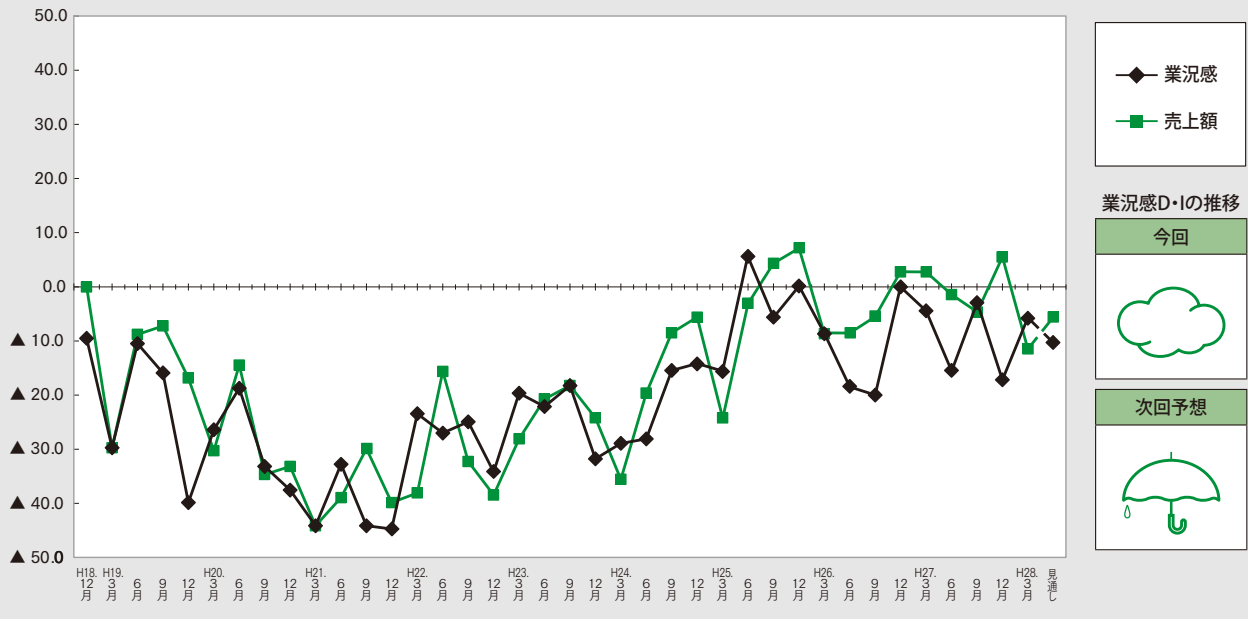


小売業

Retail trade

業況感改善

D・I推移グラフ(小売業)



1 今期 (平成28年1 - 3月期)

小売業の業況感は▲5.8 (前期▲17.1)となり、前期比で11.3ポイント改善した。一方で、業況感以外の項目については、その多くが悪化傾向にあるため、今期の業況感の改善は、前期の大幅悪化(マイナス14.2ポイント)の反動によるものと思われる。

仕入価格と資金繰りD Iは改善しているものの、その他の販売価格や売上額D Iが悪化した結果、収益D Iも悪化している。今期は特に売上額・収益D Iの悪化幅が大きい。

2 来期の予想 (平成28年4 - 6月期)

来期は再び業況感が悪化。今期と比べて4.5ポイント低下し、▲10.3となる見通しである。

今期悪化した売上額、収益、販売価格等については、改善することが期待されている一方、今期改善した仕入価格が悪化。資金繰りについてもやや悪化する見込み。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 3月期	H27. 6月期	H27. 9月期	H27. 12月期	H28. 3月期	来期見込み
業況感	▲ 4.3	▲ 15.7	▲ 2.9	▲ 17.1	▲ 5.8	▲ 10.3
売上額	2.9	▲ 1.4	▲ 4.3	5.7	▲ 11.4	▲ 5.7
収益	0.0	▲ 5.7	▲ 11.4	1.4	▲ 11.4	▲ 4.3
販売価格	7.1	14.3	2.9	4.3	▲ 4.3	▲ 2.9
仕入価格	▲ 21.4	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 10.0
在庫	2.9	▲ 11.4	▲ 11.4	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 2.9
資金繰り	▲ 27.1	▲ 7.1	▲ 17.4	▲ 25.7	▲ 15.7	▲ 20.0
人手	12.9	7.1	4.3	14.3	2.9	2.9
設備状況	10.3	7.1	4.3	15.7	13.0	11.8

業況調査メモ

イオンタウン始良「西街区」が3月10日オープンした。今後、「東街区」として既存施設を建て替え、総売場面積約5万㎡の大型商業施設が来春グランドオープンする。始良市はイオンタウン内に住民票などの交付ができる行政窓口、子育て相談や一時預かりを行う子育てセンターなどを開設。東街区には映画館も入る。イオンタウンから約1.5kmの九州自動車道桜島SAにはETC専用のスマートICが17年度完成予定で、イオンタウンは年間1千万人規模の集客を目指すという。グランドオープンまで約1年。西街区の影響を見極めながら、天文館など他商業エリアの対応策が今後、活発化してくることになる。